

今年も大雨や長雨に警戒を！

昨年は、全国的に風水害等の自然災害が頻発しました。特に8月は、台風第11号と第12号が相次いで日本に接近し、全国各地で記録的大雨が発生しました。広島市では短時間の大雨による土砂災害により甚大な被害が発生しました。

私たちが住む大隅地方では、今年の4月30日から5月1日にかけて、降り始めからの雨量が肝付町内之浦で約500mmを越える記録的豪雨となりました。

このため、肝付町役場に大隅河川国道事務所の職員を派遣しました。（*リエゾンによる自治体支援）

また、国土交通省のヘリコプター「はるかぜ」に肝付町長らが搭乗して現地被災状況の調査が行われました。

近年、全国的に集中豪雨が増加傾向にあります。このため日頃から水害に備え大雨の時には気象情報に耳を傾けるなど注意しましょう。

*リエゾンによる自治体支援とは
自治体がほしい情報の提供、自治体からのリクエストへの対応や応援派遣職員、資機材に関する調整をします。

国土交通省ヘリコプター「はるかぜ」による緊急現地調査！！



離陸前



出発前の肝付町長との打合せ状況



上空から町内を視察する肝付町長



現地状況

肝属川的主要洪水と被害状況

(1) 昭和51年6月洪水(梅雨前線)



鹿屋市

(2) 平成9年9月洪水(台風)



東串良町

(3) 平成17年9月洪水(台風)



肝付町

洪水発生年	原因	被害状況
昭和13年10月15日	台風	死者・行方不明者 259名 家屋の流失・全半壊 1,532戸 床上浸水 5,067戸
昭和46年8月5日	台風	死者 2名 家屋の全半壊 70戸 床上浸水 20戸、床下浸水 389戸
昭和46年8月30日	台風	家屋の全半壊 127戸 床上浸水 48戸、床下浸水 360戸
昭和51年6月24日	梅雨前線	死者 4名 家屋の流失・全半壊 35戸 床上浸水 5戸、床下浸水 182戸
平成2年9月29日	台風	床上浸水 45戸、床下浸水 659戸
平成5年8月1日	前線	家屋の全半壊 26戸 床上浸水 150戸、床下浸水 455戸
平成5年9月3日	台風	家屋の全半壊 276戸 床上浸水 4戸、床下浸水 57戸
平成9年9月16日	台風	床上浸水 154戸、床下浸水 756戸
平成17年9月6日	台風	家屋半壊 6戸 床上浸水 91戸、床下浸水 462戸
平成20年9月18日	台風	家屋の全半壊 4戸 床上浸水 13戸、床下浸水 134戸

*肝属川に関する意見、質問、何でもどうぞ...
〒893-1207 肝属郡肝付町新富1013-1大隅河川国道事務所
調査第一課(牧之内(マキノ)、柳(ヤナギ))
tel:0994-65-2541 fax:0994-65-9630

大隅河川国道事務所のホームページをリニューアルしました。

★ ホームページから直接、肝属川の水位・雨量やカメラ画像で川の様子が見られます。是非ご覧ください！

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>



テレビからも肝属川の水位や雨量を確認できます。

テレビ (NH)

地デジによる河川防災情報

dボタンを押す

雨量は強さに応じて4段階の青の濃淡で表示

- 3.0~
- 1.5~
- 4~
- 1~

肝属川流域の河川名に合わせて下さい。(鹿児島県内では4/4です)

画面から

河川水位・雨量

を選択して下さい

レベル	水位	説明
レベル5	はん濫の発生	はん濫の発生=レベル5 堤防の決壊などにより、はん濫した時点でレベル5となります。
レベル4	はん濫危険水位	はん濫危険水位を超えるとはん濫のおそれがあります。
レベル3	避難判断水位	避難行動を行う目安となる水位です。
レベル2	はん濫注意水位	避難行動の準備を行う目安となる水位です。
レベル1	水防団待機水位	水防団が水防活動を行うために待機する水位です。

河川水位・雨量

肝属川 4/4

肝属川 桜洲観測所

0.24m 正常水位

河川	雨量
市良川	0.50
保良川	0.24
王子城	0.98
高山川	0.1
姥良川	0.37
下谷川	0.01
徳川	2.2

アイコンの波の色や高さは、水位レベルに応じて変化します。

水災害から身を守るために日頃から防災マップを用意しておきましょう。

避難場所や避難経路を予め確認しておきましょう

防災マップとは、河川氾濫等の自然災害が発生した場合に、住民の方々が安全に避難できるよう、避難時の心得や避難場所等の必要な情報を地図に重ね合わせて示したものです。

なお、同マップについては、みなさんがお住まいの地域の市役所・役場から各世帯へ配布されていると思いますが、下記の窓口でも防災マップの閲覧が可能です。

自分自身や家族を守るための重要な情報がたくさん載っていますので、これからの梅雨時期に備えて、今一度ご確認ください。



防災マップの閲覧窓口

- | | |
|------------|---|
| 鹿屋市役所 総務課 | 電話番号:0994-31-1124 |
| | ・HPアドレス http://www.e-kanoya.net/htmbox/jichi/info.html |
| | (鹿屋市役所のHPでも閲覧可) |
| 肝付町役場 総務課 | 電話番号:0994-65-2511 |
| 東串良町役場 総務課 | 電話番号:0994-63-3131 |

「いざ」という時に備えて、緊急時の携行品を準備しておきましょう。

防災グッズの準備と定期点検

家族構成を考えながら必要な物がそろっているかチェックしましょう。また、使用期限のあるものは定期的に取り替えましょう。



おもな

非常持出し品



くらしと経済を支えるインフラ

～それがもたらす効果とは～

公共事業には、大きく分けて（１）短期的経済効果と（２）道路や港湾、堤防といったインフラの蓄積が地域の発展を促すという２つの側面があります。
今回は、（２）の九州での地域がより良くなった代表的な事例を紹介致します。

緑川水系加勢川改修事業（熊本県）の事例紹介



・従来より洪水による浸水被害が頻発していましたが、平成11年の堤防完成後、浸水被害は発生していません。

・水害リスクの減少により、ショッピングモールや商工業団地の進出などで商業事業所数が2倍に増加（H2 H24）、第3次産業従業者が4倍に増加（H2 H22）など、地域発展に寄与しています。



今後、肝属川における効果についても掲載致します。